

かみまち議会だより GIKAI-Press



10/5・19・26 中新田高生による「親子まったりいべんと」
関連記事は18ページ

● 9月定例会／第4回臨時会

やくらいゴルフ場問題 土地返還を求め提訴……………P2

R5決算「認定」固定経費が財政への影響大……………P4

一般質問 町政を問う(11人が質問)……………P10

議会中継はこちらから



加美町議会映像配信

検索



<https://kami-town.stream.jfit.co.jp/>

やくらいゴルフ場転売問題～果たされなかった約束～ Vol.2

Vol.1は議会だより
第86号P2～3参照再エネ
問題

起立採決の様子（賛成11人、反対5人）

**8月28日
土地所有権の
返還を求める**

ゴルフ場運営会社と太陽光発電事業者を相手に、ゴルフ場の土地について「町に所有権があることを確認する」「町が本来の土地所有者であるので、所有権の移転登記手続きを求める」訴えを提起すべく、議会の同意を求められました。

訴えの提起に対して、賛成2人、反対1人の討論が行われ、起立採決の結果「賛成多数」となり、原案通り可決しました。

●町が訴えの提起に至った経緯（提案理由より抜粋）

年月日	内 容
R3.4.23	ゴルフ場運営会社が、やくらいゴルフ場の存続と周辺地区の自然環境保護を前提に、土地を担保に融資を受けたいとの名目で町から土地を買い戻す
〃	ゴルフ場運営会社と太陽光発電事業者が当該土地に75メガワット規模の太陽光発電設備を設置する目的として明記された土地売買契約が締結される
R5.6.30	太陽光発電施設の開発などを行うことを目的とした事業者に移転
R6.1.31	再エネ特別委員会において、ゴルフ場運営会社からゴルフ場の閉鎖、太陽光発電事業者から当該ゴルフ場の土地における太陽光発電施設の開発について意思が示される

町が求める趣旨

- ・町に**ゴルフ場土地の所有権があること**を確認する
- ・町が本来の土地所有者であるので、**所有権の移転登記手続き**を求める

訴えの提起（起立採決の結果）

尾出 弘子	佐々木 弘毅	柳川 文俊	味上 庄一郎	早坂 伊佐雄	高橋 聡輔	三浦 又英	伊藤 由子	木村 哲夫	三浦 英典	沼田 雄哉	一條 寛	伊藤 信一	佐藤 善一	米本 正二	伊藤 淳
×	×	×	●	●	●	●	×	●	●	●	●	●	×	●	●

●…賛成 ×…反対 ※議長は採決に加わらない



尾出 弘子

反対討論

太陽光発電事業者が町を相手に提訴したのは「裁判を通して土地売買に関する事実関係を整理するため」と述べている。**町はその裁判で事実関係を明らかにすればよい。**

公費を使い、勝訴の可能性が低い裁判を起こすことに反対する。



高橋 聡輔

賛成討論

議会は町と一丸となり土地売買契約の真相解明の議論を重ねてきた。執行部に対しては、関係資料の提出と経緯を明らかにするための調査を要請している。

今回、訴えの提起を認めないことは、はしごを外す行為である。



味上 庄一郎

賛成討論

ゴルフ場への融資先が太陽光発電事業者だと議会が知っていたら、土地の買い戻しに賛成したのだろうか。

議会はメガソーラー事業に全会一致で反対し、訴訟関連予算も可決した。実態を明らかにするための訴えである。



石山町長から早坂議長へ資料が提出される

8月5日に開催した特別委員会では、町から土地売買関連資料が提出されました。また今後の調査方法について協議しました。28日の臨時会では、土地所有権返還を求める訴えの提起を賛成多数で可決しました。

8月5日 町が議会へ 関連資料を提出

7月8日に議会が町へ「土地売買に関する情報の開示」を要請したことから、土地売買の発端となった平成25年6月17日以降の経過記録・文書について調査を実施し、町と事業者間における行政手続の経過や協議内容などの文書が町長から議会へと提出されました。

なお、裁判を控えていることから慎重な取扱いが求められました。

それを受けて特別委員会では、調査の進め方を協議し、同委員会の幹事に一任して調査を継続することとしました。



これまでの経過については議会だより第86号をご覧ください

●問題が発覚してからの議会の主な動き

年月日	議会の動き	内 容
R6.1.31	再エネ特別委員会	ゴルフ場運営会社(株)チームトレインから令和6年の営業をもって終了し、太陽光発電を設置することが表明される。太陽光発電事業者カナディアン・ソーラー・プロジェクト(株)から事業説明を受ける
R6.6.13	再エネ特別委員会	カナディアン・ソーラーから住民説明会での内容説明・状況報告を受ける
R6.7.5	再エネ特別委員会	やくらいゴルフ場への太陽光発電事業に対する「 反対表明 」を 全会一致 で採択
R6.7.8	反対決議書 を町長に提出	メガソーラー事業に対する反対表明と町への要請を提出
R6.8.5	再エネ特別委員会	町から要請に基づく関係資料が提出される。今後の調査を幹事に一任することを決定する
R6.8.28	第4回臨時会	ゴルフ場運営会社と太陽光発電事業者を相手に、ゴルフ場の土地について所有権の返還を求める「 訴えの提起 」を 賛成多数 で可決

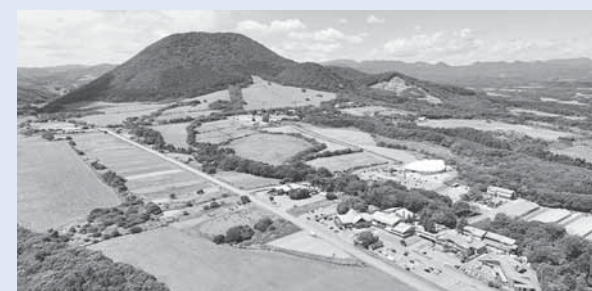
※委員会の運営などについて幹事を5回（1/16、6/7、6/27、8/5、10/3）開催しました。



観光施設修繕費 加美病院負担金

施設の長寿命化を
薬師の湯など振興公社が管理している施設の老朽化が著しく、年々設備の修繕費用が多額となっていることから、長寿命

単年度収支のバランスを改善するため、今後も行財政改革に著実に取り組み、健全財政に努めてもらいたい。



計画的な改修で「最高のおもてなし」

着実に行政改革を
一般会計の決算収支は6億9978万円の黒字、翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた実質収支は6億5182万円の黒字でしたが、当年度の純粋な収支である実質単年度収支は財政調整基金を3億円取り崩したことに



決算審査特別委員会
高橋 聡 輔

委員長報告

化を念頭においた計画的な改修が必要である。
公立加美病院 負担金増
年々増加しており、町の財政状況に及ぼす影響が大きいと思われるので、様々な観点から検討してもらいたい。
改善案を新年度予算へ
各委員から町の事業に対して、様々な改善案が出されたので、新年度予算編成に反映することができないか、早急に検討してもらいたい。

決算審査の流れ



議会はこの事業・決算に注目!!

- 観光施設の維持管理事業
- 公立加美病院 町負担金
- 地域おこし協力隊
- 学力向上関連事業
- 畜産農家継続支援



決算審査録画映像

← P6～7ページでは
決算審査で注目した事業・決算をチェック!!

全会計の歳入・歳出決算を 全会一致で認定

令和5年度 各会計の決算額と採決結果

会計名	歳入額	歳出額	採決結果
一般会計	145億4,600万円	138億4,622万円	認定
国民健康保険事業	29億1,485万円	27億4,290万円	認定
後期高齢者医療	2億9,405万円	2億8,942万円	認定
介護保険	33億5,189万円	32億2,478万円	認定
介護サービス事業	742万円	534万円	認定
加美郡介護認定審査会	746万円	515万円	認定
霊園事業	427万円	211万円	認定
町営駐車場事業	242万円	217万円	認定
下水道事業	12億5,383万円	8億9,851万円	認定
浄化槽事業	1億 25万円	8,499万円	認定
水道事業	収益的収支 5億3,523万円	5億2,760万円	認定
	資本的収支 296万円	1億3,654万円	認定

※資本的収支の不足額には、損益勘定留保資金や積立金などで補填しています。

影響を懸念

令和5年度 一般会計決算歳出総額

138億4,622万円は どう使われた



行財政改革を推進 健全財政へ

徹底した歳出削減
令和3～7年度の5年間で「行財政改革集中期間」と位置づけ、歳入の確保、事業の見直しなどに取り組んでいる。
徹底した歳出削減により、当年度の純粋な収支である実質単年度収支の赤字幅が減少し、財政調整基金の取り崩し額を前年度に比べて1億円抑制することができた。



代表監査委員
田中正志

監査意見書(抜粋)

事業の再編が重要
これまで人件費の抑制など行政運営効率化に努めているが、既存事業・経費の徹底した見直しによる行財政改革と、個別施設計画を着実に実施していくことが重要である。より一層、政策効果に基づく事業の再編に努めてもらいたい。
財源不足への対応
依然として赤字体質であるため、財政調整基金による財源不足への対応が続くことが予想される。一方で、ふるさと納税による寄附受け入れ額が初めて2億円を突破するなど、自主財源の確保の努力も見えている。

9月 定例会

9月定例会は、10日から20日までの11日間開催しました。
一般質問は、11人の議員が町政運営について問いただし、議案審査では、決算審査特別委員会で審査した令和5年度各種会計決算11件を認定、認定ことも園設置条例の一部改正など7議案を原案通り可決、教育長などの人事案件4件に同意、報告1件を受けました。

定例会で審議した内容

報告	1件
条例の一部改正	2件
令和6年度補正予算	3件
令和5年度決算認定	11件
契約の締結	1件
人事案件	4件
町道の認定・廃止	1件



令和5年度決算の詳しい内容は広報かみまち10月号をご覧ください

地域おこし協力隊

2,126万円



議会是这样見る！

これまで44人を受け入れ、定住者は6割であり、農業の協力隊は16人中8人が就農している。

どの分野においても協力隊の活動はめざましい。

今後、新たな隊員をどの分野に受け入れていくのか定かではないとのことだが、中学校・高校の学習支援が縮小しないか気がかりである。

地域おこし協力隊 たかはし まさと 高橋 真人さん

学力向上関連事業

5,087万円



議会是这样見る！

タブレット導入4年目になり、教員の指導力は着実にアップしているという。

保護者からは、指導力の差や読み書きの力の低下が心配だとの声があるが、低学年の場合には、あえてタブレットを活用しないなど、学校ごとに工夫していることが分かった。

畜産農家継続支援

2,040万円



議会是这样見る！

現在は、餌代の高騰に対して売買価格の下落により、儲けはほぼ無い状況である。

乳牛や肉用牛を購入する際、北海道産牛、町内産和牛にそれぞれ追加助成をしている。

社会情勢を見て、経営安定対策の補助金も見直されているが、畜産業はなかなか厳しい状況である。食料自給力向上に向けて農家を支援してほしい。

令和5年度 決算をチェック

一般会計歳出 138億4,622万円

(対前年2億2,177万円 減額)

決算審査特別委員会では、担当課職員から説明を聞き細部にわたり慎重に審査しました。

その中で、多くの委員が注目した事業・決算について、意見や考察を含めて紹介します。

観光施設の維持管理事業

3,780万円



議会是这样見る！

加美町振興公社への指定管理料約2億3,000万円のほか、5つの施設修繕に3,780万円を支出している。

合併後も観光振興に大きな役割を果たしてきたが、毎年増額される指定管理料は、財政圧迫の大きな要因となっている。早急な経営改善と施設全体のあり方を検討すべきである。

公立加美病院 町負担金

3億2,842万円



議会是这样見る！

毎年3億円を超える負担金になっているが、今後町財政に影響を及ぼすのではないかと懸念がある。

県の指導を受けて経営改善プランを進めてきているとのことだが、加美町の老健施設利用者は年々減少している状況から、更なる経営改善を求める声が挙がっている。

補正 予算

町独自の交流人口対策費を追加

一般会計補正予算

主要内容		補正額
歳入	普通交付税	6,356.3万円 減
	物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金	1,761万円 増
	子ども・子育て 支援事業交付金	378.4万円 増
歳出	物価高騰対応 重点支援給付金	1,600万円 増
	台湾訪問関連事業費	98.4万円 増
	加美郡保健医療福祉 行政事務組合負担金	702.1万円 減
	農道等災害復旧工事	1,580万円 増
債務 負担 行為	加美町留学生支援事業 (令和7～9年度)	900万円 増

債務負担行為とは…将来にわたる債務を負担する行為。
例：当年度に契約を締結するものの、支払いは翌年度になる場合
●Pick upは、議員が質問した項目を中心に選んでいます。

Pick up2

加美老健施設 加美町の利用者減



負担金減額の主要内容

- 加美病院・老人保健施設負担金 ▲702万1千円
令和5年度の老人保健施設における加美町の利用者が減少したことに伴い、負担割合が減少。

Pick up1

台湾との国際交流に向けて本格始動



昨年12月に台湾で開催された「日本東北遊楽日」

事業の主要内容

- 台湾訪問関連事業費 98万4千円
農産物の輸出やインバウンド（訪日外国人旅行）人口の拡大に向け、台湾都市との姉妹都市締結に向けて10月に訪問。
日本台湾交流協会への加入により、台湾の経済状況や市場動向などの情報収集、台湾情勢セミナーなどに参加する予定です。

Pick up3

全国から来る中新田高生の生活サポート



事業の主要内容

- 加美町留学生支援事業 900万円
中新田高校の全国募集に対する町の支援として、町内の民間アパートを寮として借り上げ、在学中の生活費のうち月額5万円を補助します。

議案 審議

おのだひがし園・おのだにし園 令和7年4月から「おのだ園」に統合

小野田地区の認定こども園2園が統合



統合検討委員会からの答申を受けて、令和6年4月25日加美町教育委員会・総合教育会議が開催され、統合の時期・新しい園の場所について答申に沿って進めることが決定されました。
これに伴う条例の一部改正を承認しました。

答申内容は右記のとおり



統合検討委員会からの答申内容（抜粋）

- 統合の時期 令和7年4月1日
- 新園の場所 おのだひがし園の現園舎（幼稚園部園舎・保育園部園舎）
- 付帯意見
幼稚園部と保育園部が一体となった園舎の新設を強く要望する。

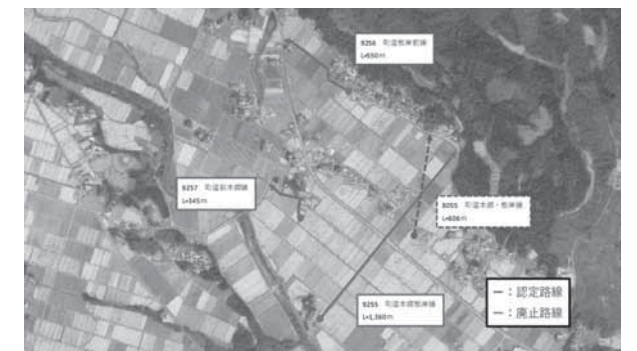
伊保滝橋ほか1橋修繕工事



伊保滝橋（小野田・南鹿原）

令和5年度に実施した橋梁修繕詳細調査並びに橋梁長寿命化修繕計画に基づき、伊保滝橋・源城橋の2橋について、塗装や舗装の打替えなどの修繕工事を行います。

町道の認定及び廃止（本郷根岸線など）



県営圃場整備事業に伴う県有土地改良財産の譲渡が完了したことにより、本郷・根岸地区内の町道1路線の廃止と新設する3路線を認定しました。

令和7年1月1日から3年間



瀬谷 とう子さん(新)
(小野田・中嶋)



田崎 敏子さん(再)
(宮崎・東町)

人権擁護委員

令和6年9月23日から4年間



今野 英俊さん(新)
(宮崎・小泉)

教育委員

令和6年9月29日から3年間



鎌田 稔さん(再)
(中新田・南町)

教育長

人事案件

町政を問う 11人が質問

似顔絵を描いてくれたおともだち

加美町立認定こども園

おのだひがし園 きりん組



一般質問目次



通告1番 柳川 文俊 (やながわ ふみとし) 11ページ

空き家対策
放置か解体かどう取り組む



通告7番 尾出 弘子 (おいで ひろこ) 14ページ

SNS教育
トラブル対策は



通告2番 伊藤 由子 (いとう ゆうこ) 11ページ

協力隊配置
今後の活用方針は



通告8番 伊藤 信行 (いとう のぶゆき) 14ページ

森林整備
自伐型林業に取り組む考えは



通告3番 一條 寛 (いちじょう ひろし) 12ページ

自治体DX
住民サービスの向上は



通告9番 佐々木 弘毅 (ささき こうき) 15ページ

風力発電
漆沢地区住民7割が受け入れ



通告4番 高橋 聡輔 (たかはし そうすけ) 12ページ

合併特例債
活用計画は早期対応を



通告10番 味上 庄一郎 (あじみ しゅういちろう) 15ページ

再エネ問題
転売事実隠蔽は誰の指示か



通告5番 木村 哲夫 (きむら てつお) 13ページ

公共交通
西古川駅まで住民バス運行を



通告11番 米木 正二 (よねき しょうじ) 16ページ

災害対策
自然災害への取組は



通告6番 伊藤 淳 (いとう じゅん) 13ページ

福祉対策
こども・高齢者に優しい町へ

■一般質問…議員が、町への政策提言や町の課題などについて、町に質問すること。
※一般質問の録画映像は、掲載しているQRコード（議員写真下）で視聴できます。

空き家対策

放置か解体かどう取り組む

町長 空き家バンクへの登録促す

問 宮崎地区の空き家196戸のうち、未管理空き家が86戸もある。令和4年度にあった苦情33件の処理は。

町長 町担当者が現地確認し、家屋の損壊、飛散などの恐れがある場合は、所有者などに適正に管理するよう通知して改善を促している。

問 国の空き家対策が強化される中、町の「空家等対策計画」の見直しの状況と策定時期は。

町長 法改正で管理不全空家への対応などが示された。新たな支援制度も計画に盛り込む必要があると考えており、令和7年度中の策定を見込んでいる。

質問のねらい

危険な空き家の実態を知るため、行政区長にアンケートを実施した。行政区が抱える空き家問題に町が応えてきたか伺う。



協力隊配置

今後の活用方針は

教育長 次年度以降も配置を検討

問 平成22年に県内初の地域おこし協力隊を導入し、これまで44人を受け入れている。農業振興の主な取組と成果は。

町長 農業法人などで16人も受け入れ、卒業後も9人が定住し、うち8人が就農している。町の基幹産業を支える担い手となっている。

問 中新田高校に協力隊を配置して3年目を迎えたが、今後期待するところと学校が目指すものは。

教育長 地域創造学を通して、地域社会に貢献する人材を育てるため、学習支援を期待する。学校では、町の活性化に直結する人材を育てていきたい。

質問のねらい

中新田高校存続のため、協力隊の学校魅力化支援での活躍はめざましい。次年度も中学校での学習支援を継続するために採用すべき。



問 周辺に悪影響を及ぼしている危険な空き家の対策は急務である。今後どう取り組むのか。

町長 無料相談会による適正管理の推進と、空き家バンクへの登録を促して利活用を推進し、空き家の増加を防ぐ。



長年放置されている空き家

税務課長 解体後は課税特例が受けられなくなるため、高くなる。



加美町 空き家バンク

その他の質問

● 共生社会実現に向けた認知症対策の取組

問 情報誌『地域おこし協力隊瓦版』に多彩な活動が紹介されているが、波及効果と思われる具体例は。

町長 各地域でドローンの出前講座を実施してきたが、現在では地域からの要望で放課後児童クラブや公民館事業で教室を開催している。



中学校での学習支援の継続を



町HP 地域おこし協力隊

その他の質問

● ツール・ド・347

住民サービスの向上は

町長 一部業務をオンライン化

問 自治体がデジタルトランスフォーメーション（DX）化する目的は、住民サービス向上や経費削減だと思うが、進捗状況と推進の考えは。

町長 今年3月にDX推進計画を策定して、書かない窓口システムの導入、各種審査会のオンライン会議化、防災アプリの導入に取り組んだ。今後も住民サービス向上に向けて推進していく。

問 ペーパーレス化はどのくらい進んでいるのか。

町長 決裁事務の電子化を検討しているところで、対象業務が拡充されれば、印刷費用の削減が期待できる。またタブレット端末を導入して資料の電子化を進めている。

質問のねらい

自治体がDX化を推進することにより、住民サービスの向上、業務の改善、行政経費の削減を図る必要があると考えた。



一条 寛 議員
録画映像

町長 必要な事業に効果的に活用

問 町の総合計画は、町長の意見が大きく反映される指針であるが。

町長 所信表明や施政方針で示した雇用・福祉・子育ての3本柱を基本に検討を進めている。

問 以前から、子ども議会や保護者から、公園整備の要望が出ているが予定はあるか。

建設課長 今年度、あゆの里公園「子ども広場」、小野田中央児童遊園の遊具更新を進めている。次年度以降も整備を進めていく。

質問のねらい

総合計画・新町建設計画と合併特例債は切り離せない。起債を有効に活用するには、新庁舎整備以外にも検討し始めなければならない。



高橋 聡輔 議員
録画映像

問 システム導入費用や機器更新に対する国からの補助はあるのか。それぞれの事業で活用できる補助事業がある。



12月2日から「マイナ保険証」へ移行

問 10月から郵便料金が値上げされるが、DX化で費用を削減する考えは。

企画財政課長 紙媒体の通知を電子ファイルでの送付に切り替えることで、印刷費や郵送にかかる人件費の軽減につながると考えている。



マイナンバーカードの申請方法

その他の質問

●災害ケースマネジメント
●後付けのペダル踏み間違え急発進抑制装置

西古川駅まで住民バス運行を

町長 実現に向け合意形成を目指す

問 西古川駅までの住民バス路線延伸の検討状況は。

町長 ミヤコーバス色麻線が競合路線として運行しているため、延伸が困難な状況である。

しかし、昨年町が実施した西古川駅の利用状況調査結果を（株）ミヤコーバスに報告したところ「公共交通の利便性につながることに對しては協力していきたい」と、前向きな発言があった。実現に向けて合意形成を目指していきたい。

問 スポーツなどの習い事の送迎に、住民バスを活用できないか。

町長 小学生の保護者へのアンケートで、68%が「有料送迎サービスがあれば利用する」との回答だった。

地域公共交通計画の策定を進める中で、しっかり検討していきたい。

質問のねらい

町内PTAとの議会ミーティングの中で、住民バスの運行についてや通学費用助成の要望があったため、検討状況を問う。



木村 哲夫 議員
録画映像

子ども・高齢者に優しい町へ

町長 具現化に向け施策を推進

問 こども食堂、フードパントリーの設置状況と、取組の内容は。

こども家庭課長 8月3日に中新田公民館を会場にテスト開催した。

こども食堂は60食を提供、フードパントリーでは、子育て世帯やひとり親世帯、生活困窮世帯に対して食材を無料で配付することができた。

問 子ども議会などで度々、運動できる公園や遊具整備の要望が出されてきたが、現況はどうなっているのか。

建設課長 今年度、老朽化した遊具の更新を進めており、次年度以降も順次整備していきたい。

質問のねらい

子どもと高齢者に対して要望されている事項の早期着手と、予算を伴わない施策はどんどん実践していくべきとの視点から問う。



伊藤 淳 議員
録画映像

Check

※合併特例債

合併した市町村が新しいまちづくりのため、総合計画や新町建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のこと。
■令和6年度までの発行額 約93億6,000万円（令和7年度以降の発行可能額は約42億円）

その他の質問

●部活動地域移行の町の取組は



あゆの里公園「子ども広場」（イメージ）

問 乳幼児健診の実施状況は。

保健福祉課長 新生児の聴覚検査から3歳児健診までを実施している。育児の不安などがあれば、フオローできる体制をこども家庭課と連携して取っている。



提供された「野菜カレー」

数多くの日用品や食材の提供・協賛が集まる

町長 役場全体で、文字の大きさや書体、読みやすさをまとめた文章に統一できるようにしていきたい。



町HP
こども食堂
フードパントリー

その他の質問

●環境美化
（ごみ集積と沿道の除草）



加美町
住民バス

その他の質問

●住宅地における鳥獣出没と空き家対策



西古川駅まで延伸を



送迎する車で混雑する西古川駅

SNS教育 トラブル対策は

教育長 適切なネット利用を促す

問 学校現場では、SNSによるいじめを予防する取組はしているのか。

答 昨年の加美町長選挙では、SNS上で前町長に対する誹謗中傷がかなり見受けられたが、

教育長 各学校では、児童生徒・保護者を対象に適切で安全なSNSを含めたネット利用について啓発活動をしている。今後、学校や関係機関との情報共有を図りながら、いじめの未然防止、早期発見・対応に努める。

町長 SNSという新しいツールが普通となってきたので、注意喚起していく。

町長 町長選挙での情報提供はなかった。選挙公報やホームページで周知を図っていく。

町長 SNSという新しいツールが普通となってきたので、注意喚起していく。

Check

※情報流通プラットフォーム対処法

従来のプロバイダ責任制限法に、インターネット上での誹謗中傷被害を防止することを目的として、SNSなどの運営事業者に対し、人権を侵害する投稿への迅速な対応などの新たな規制が盛り込まれた。

Check

※メディアリテラシー

テレビや新聞、インターネットなどから得た情報の真偽を見極めて読み解いたり、情報を正確に発信したりする能力。



ネット上の誹謗中傷がない社会へ

質問のねらい

※情報流通プラットフォーム対処法の施行により、※メディアリテラシー教育の重要性が問われ、学校教育や社会での対応が求められている。



尾出 弘子 議員

森林整備

自伐型林業に取り組む考えは

町長 果敢に取り組む必要がある

問 一度に伐採する木を最小限に留めながら再造林を図り、山の荒廃を防ぐ「自伐型林業」に取り組む考えは。

町長 生計を立てるために必要な所得の確保が難しいため、大崎管内でも取組事例がない。慎重に判断する必要があるが、果敢に取り組んでいかなければならないと考えている。

町長 生計を立てるために必要な所得の確保が難しいため、大崎管内でも取組事例がない。慎重に判断する必要があるが、果敢に取り組んでいかなければならないと考えている。

町長 生計を立てるために必要な所得の確保が難しいため、大崎管内でも取組事例がない。慎重に判断する必要があるが、果敢に取り組んでいかなければならないと考えている。

町長 生計を立てるために必要な所得の確保が難しいため、大崎管内でも取組事例がない。慎重に判断する必要があるが、果敢に取り組んでいかなければならないと考えている。

町長 生計を立てるために必要な所得の確保が難しいため、大崎管内でも取組事例がない。慎重に判断する必要があるが、果敢に取り組んでいかなければならないと考えている。



新たな森林経営モデルの確立を



支障木を間引いて木を育てる

その他の質問
なし



町HP 森林整備対策室

質問のねらい

新しい林業モデルである、環境に負荷をかけない低コスト林業（自伐型林業）に取り組むべきではないか。



伊藤 信行 議員

風力発電

漆沢地区住民7割が受け入れ

町長 事業者が地域貢献している

問 JRE宮城加美町ウィンドファームの稼働で苦情はあるか。

町長 苦情はないが、音が気になる世帯に対して、二重サッシ化の対応を取ったとの報告を事業者から受けている。協定書に基づいた100万円の寄附や、漆沢集会所の改修などが行われており、加美町独自の貢献策も検討していると聞いている。

問 風力発電事業に伴う固定資産税や土地賃借料は、どのくらいを見込んでいるのか。

町長 固定資産税は守秘義務のため回答はできないが、土地賃借料は昨年度が約500万円、今年度は380万円を見込んでいる。

町長 苦情はないが、音が気になる世帯に対して、二重サッシ化の対応を取ったとの報告を事業者から受けている。協定書に基づいた100万円の寄附や、漆沢集会所の改修などが行われており、加美町独自の貢献策も検討していると聞いている。

町長 固定資産税は守秘義務のため回答はできないが、土地賃借料は昨年度が約500万円、今年度は380万円を見込んでいる。

質問のねらい

風力発電事業はわが町には不要か。今年5月にJREの風車が本格稼働した漆沢住民の声を届けるとともに、事業者の地域貢献策を問う。



佐々木 弘毅 議員

再エネ問題

転売事実隠蔽は誰の指示か

総務課長 代表者との面談で見守る判断

問 民法第580条第3項の買戻し期限のない買戻し条項と言えないのでは。

町長 係争のポイントになる。訴訟の担当弁護士も判断が分かれるとしている。

問 国土利用計画法に基づき届出が令和3年5月7日に受理された時点で転売を把握していたのに、なぜ議会に報告しなかったのか。

町長 誰かの指示がなければ、担当職員が隠蔽することはできないのでは。

問 令和3年4月23日の臨時議会終了後の登記手続は、事前に準備されていたのでは。

町長 契約書の日付だけが手書きである。裏でカナディアン・ソーラー・プロジェクトと太陽光発電事業推進を最初から取り決めていたことは、契約書からも明白である。

質問のねらい

なぜ議会に報告されなかったのか、誰かの指示があったのか、事実を明らかにするため。



味上 庄一郎 議員

その他の質問
なし



町HP 森林整備対策室

質問のねらい

林業のマンパワーは不足しているが、担い手を育成するために地域おこし協力隊を活用する考えは。

町長 林業や木工をなりわいとして、町に住定できるようなシナリオを描いてから募集したい。



整備された道路や法面（JRE風力発電）

（他自治体の例）
固定資産税の推計
10基、20年間稼働
約1億7,000万円

その他の質問
なし



やくらいゴルフ場転売問題の真相解明を

その他の質問
なし

自然災害への取組は

町長 マニュアルに沿って対応

問 災害発生時の職員体制は。

町長 対策本部の設置・職員の招集・情報収集・避難誘導などの災害時職員初動活動マニュアルに沿って対応する。

問 人口が一番多い中新田地区には、水害時の避難先が無いため、避難場所の確保は重要課題であると思うが。

町長 水害が発生する前に避難指示を出して、安全な地域への避難を促していきたい。

問 また地元企業と災害時の協定を結んで避難所として提供してもらう体制を強化していきたい。

町長 県防災指導員資格を区長などに取得してもらうよう促すとともに、行政区に在る有資格者の活用を図るよう区長会で啓発していく。



令和4年7月豪雨で名蓋川が氾濫（中新田・上狼塚）

質問のねらい

近年、大きな自然災害が多発しており、平時から住民の安全安心を守り、防災・減災の取組を進める必要があるとの思いから。

問

災害では、自助・共助が大きな役割を果たすが、自主防災組織でのリーダー養成をどのように進めていくのか。

町長 県の防災指導員資格を区長などに取得してもらうよう促すとともに、行政区に在る有資格者の活用を図るよう区長会で啓発していく。

問 マニュアルの運用には職員の認識が大切である。

町長 対応策と危機管理体制の充実・強化を図るため、危機管理室を課に改めるべきでは。

町長 休日でも全職員に通知できる体制をとっている。

来年度に向けて組織体制や人員配置を検討する。

その他の質問

なし



町H.P. 危機管理室

追跡シリーズ

あれからどうなった

vol.57

これまでの定例会などで質問されたことが、その後どうなったのかをお知らせします。

■帯状疱疹ワクチン接種



問

帯状疱疹は、免疫の低下などで発症し、重い後遺症を生ずることもある。

町長 予防のため、高齢者ワクチン接種への助成が必要と考えるが。

町長 国や県の動向や、県内市町村の取り組み事例を参考にしながら、前向きに検討していく。

その後

令和4年12月定例会
議会広報No.80号から

■今年4月から助成開始

保健課 今年4月1日より50歳以上の希望者に対して接種費用の一部助成を開始しました。

保健福祉課、小野田・宮崎福祉センターで予診票（助成券）を受け取り、郡内医療機関にて接種してください。



町H.P. 帯状疱疹ワクチン

調査員コメント 十分達成できている

30年ほど前に私自身も罹りました。「つづらご」とも言われ、寝ている時もピリピリとした痛みが3週間ほど続き、つづらごの実のエキスを塗って痛みを和らげた記憶があります。（柳川）

視察レポート 教育民生常任委員会 令和6年7月9日～10日

住民生活にDXを活用

視察先：北海道鷹栖町・東神楽町



手厚いサポートで子育てを応援（鷹栖町）

鷹栖町 切れ目ない子育て支援

妊娠から出産まで切れ目のない体制づくりのため「子育て世代包括支援センター」を開設しており、助産師も採用していることは珍しいことであつた。

国の補助事業を活用し、小児科・産婦人科・助産師に24時間スマホで無料相談もできる。

「こども家庭センター」の設置準備を進めている本町でも参考にしたい。



「楽しく無意識に健康になろう！」（東神楽町）

東神楽町 いつの間にか健康に

平成28年に「ひがしかぐら健康くらぶ」を設立し、健康寿命の延伸などを目標として様々なヘルスリンクと連携し、データを活用して健康に関するさまざまな取組を行っている。

今後20年間で急激に進む高齢化対策の基礎データとしても活用されることだった。

より効果的な取組の必要性を痛感させられた。

視察レポート 議会広報常任委員会 令和6年8月6日～7日

あなたと議会をつなぐガイドブック

視察先：大阪府岬町議会・奈良県王寺町議会



議員自らの手による広報紙づくり（岬町議会）



岬町 議員手づくりの広報紙

「事務局員の手を煩わせない」をモットーに、紙面レイアウトから、イラスト・写真の準備なども議員自ら行っていることに驚いた。

「昨日、岬町に引越してきた中学生でも分かるような文章を目指す」という編集方針は、非常に具体的で分かりやすく、実践できるところは参考にしていきたい。



担当者が敏腕の広報アドバイザー（王寺町議会）



王寺町 読みやすい書体の採用

「町民の参加、脱・報告書、読みやすいレイアウト、文字を少なく写真を多く」をコンセプトに編集していた。

20～40代の女性をターゲットとして、関心が高い情報を中心に掲載しており、住民が手に取りたくなる雑誌感が特徴的であつた。

議会のうごき

加美町議会の主な活動を報告します

8月
～10月

①



軽作業をする利用者
(クローバーハウス)

②



ダウンサイジングの
まちづくりを町長が説明
(岡山県美咲町)

月日	本会議・委員会など	内 容
8月	5日	再エネ特別委員会 CS宮城やくらいGC太陽光発電事業について調査 ⇒ P2～3
	6～7日	議会広報常任委員会 視察研修(大阪府岬町議会・奈良県王寺町議会) ⇒ P17
	19日	全員協議会 認定こども園設置条例の一部改正についてなど協議
	23日	産業経済常任委員会 薬用植物ムラサキ、畑わさびの進捗状況など調査
	27日	議会運営委員会 第3回定例会の運営についてなど協議
	28日	第4回臨時会 議案審議(訴えの提起)・補正予算 ⇒ P2～3
9月	10～20日	第3回定例会 一般質問・議案審議・令和5年度決算審査など ⇒ P4～
	26日	総務建設常任委員会 加美町表彰等の見直しについてなど調査
	26日	教育民生常任委員会 加美町表彰等の見直しについて調査
10月	16日	教育民生常任委員会 障害者施設の現状について調査(現地視察あり) ①
	17日	議会改革推進協議会幹事会 PTAとの意見交換会の意見集約について協議
	23～24日	総務建設常任委員会 視察研修(岡山県美咲町・岡山県西粟倉村) ②
	28～29日	産業経済常任委員会 視察研修(熊本県大津町・熊本県菊池市ほか)

※議会だよりの編集のため、議会広報常任委員会を5回(9/10、20、10/9、15、22)開催しました。

議会傍聴について



傍聴の受付は「小野田支所3階」にて行います。
申請書に住所・氏名・年齢などをご記入ください。
一般傍聴席は「19席のみ」となります。
満席時には、1階会議室で生中継を視聴できます。

インターネットで映像配信しています▶



傍聴・視聴された方(延べ人数)

会 議	傍聴者人数		議会中継(LIVE) アクセス件数
	男性	女性	
9月定例会 ※決算委員会含む	14	11	1,944

次回定例会は

12月上旬ごろ

の開催予定です

議会だよりへ一言

議会だより84号(令和6年2月1日発行)に
対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想
を紹介します。

モニター 〈表紙〉
議会はどうしても堅いイメージがある。

広報委員会 今号から、若い世代にも手に取ってもら
えるように雑誌感のある表紙に変更しまし
た。

視察受け入れ

議会におけるタブレットの活用やペーパーレス化
についての視察を受け入れました。



10/11 美里町議会 議会活性化調査特別委員会

体験隊が行く!

シリーズ
第4回

中新田高校「親子まったりいべんと」



さわくら公園内にある旧墨絵美術館



焼きそばうまい!

「100年続く、まちづくり」をテーマに、中新田高校3年生が
まちづくりイベントを企画し、10月5日、19日、26日の3日間、
さわくら公園内にある旧墨絵美術館にて開催しました。

これは「地域創造学」という科目の一環として行ったもので、
「親子まったりいべんと」と題して、親子でのんびり、ゆっくり
できる空間を提供するため、ボールプールや射的ゲームなどの
コーナーやカフェスペースなどを生徒が工夫して準備しました。



スノードーム作り

▲瓶の中に選んだ材料を入れていくと、思い
がけない模様ができていくことに興味津々
な子どもたち



まったりできるカフェスペース



ストラックアウト

▲ナンバーカードにボールが当たるとみんな大喜びでし
たが小さいタイプもあり、何度も挑戦していました



▶小さな子どもたちは、カラ
フルな風船の感覚を楽しん
でいました

ボールプール

体験した感想

親子が「まったりできる」遊び場を準備するた
めに高校生たちは、保育園の先生にゲームや遊び
を教えてもらったり、カフェで提供するケーキづ
くりや接客のノウハウを学んだようでした。

「何が一番大変だったか」と聞いたところ、小
さい子どもたちとの接し方が難しかったとのこと
でした。

今回の壮大な課外学習とも言えるイベント企画
を通して、将来のまちづくりへの意気込みが感じ
られました。
(伊藤由子隊長)



～ オレンジの交通安全旗を掲げて～

小野田・原町



みんなが集う「お茶っこ飲み会」

会」は、健康教室やスコップ三味線演奏会などを行い、区民交流の場となっています。秀峰・薬菜山を仰ぎつつ、健康で楽しく過ごせる行政区を目指していきます。

敬老会や収穫祭などの行事は、婦人会・青年会など各種団体の協力を得て行っています。月一回開催している「お茶っこ飲み

会」は、健康教室やスコップ三味線演奏会などを行い、区民交流の場となっています。秀峰・薬菜山を仰ぎつつ、健康で楽しく過ごせる行政区を目指していきます。

原町行政区は、東西に約1300m、南北に約400mで、国道347号線が区中央部を横断しています。



日野 俊児 区長

世帯数 105世帯
人口 308人
(令和6年9月末現在)

われらが仲間

会員・地域のにぎわいづくり 加美商工会 青年部



現青年部より未来の青年部へ

部長 三嶋 謙裕
事務局 加美商工会小野田支所
担当：玉槻
連絡先 ☎67-2427
■青年部では会員を募集しています！
興味がある方は事務局までご連絡ください。

青年部は、45歳以下の経営者や後継者で構成され、主な活動は、講習会の開催・他青年部との交流会・地域行事への協力や青パトでの防犯パトロール活動などです。毎年「主張発表大会」(全国商工会青年部連合会主催)が開催されており、6月21日にやぐらい文化センターを会場に、宮城県大会が開催され、浅野健太副部長が大崎ブロック代表として「コロナ禍を乗り越えて再確認した青年部活動の重要性」をテーマに発表し、最優秀賞を受賞しました。内容は、町内中学校卒業式での巨大卒業証書フォトスポットの作成や、鳴峰中学校の校訓の看板(木枠)作成を通して、子どもたち・学校関係者・地域住民との交流が広がっていったことについてです。8月に行われた東北・北海道大会でも最優秀賞に輝き、11月に大阪で行われる全国大会に出場することが決まりました。

編集後記

10月11日、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞したニュースが飛び込んできました。

子どもたちが犠牲になる紛争が未だに絶えませんが、日本被団協による68年間の訴えが認められたことに感動しています。この度の受賞が、核使用リスクの歯止めになってほしいと祈るばかりです。

今回、議会広報の表紙をリニューアルしました。

いかがでしょうか、イメージが変わったと若者が手に取ってくれることを編集委員一同、期待しているところです。

(伊藤由子)

議会広報常任委員会

編集委員

委員長 伊藤 由子
副委員長 木村 哲夫
委員 尾出 弘子
委員 佐々木 弘毅
委員 柳川 文俊
委員 高橋 聡輔